

とちぎ市議会だより

第61号(3月定例会)
2024.5.20発行

新たな芽吹きのために 渡良瀬遊水地でヨシ焼き実施



特集

- 新年度予算を審議(予算審査) 2~3
- アドバイザー・モニターに聞きました 14~15
- 市長へ要請書を提出 17

- 国民健康保険税条例の一部改正 4
(3月定例会で決まったこと)
- 表紙写真の説明 5
- 17人の議員が市政を質す 6~14
(一般質問)

前年度比で7千万円の減 740億9千万円



議案第 1 号
令和 6 年度
一般会計予算

可決 賛成 24
反対 3

新年度の予算や事務事業計画について「予算特別委員会」を設置し、議長を除く全議員が4つの分科会（総務・民生・産業教育・建設）に分かれて、担当する分野を審査しました。

また、全体会では、市の各種施策を踏まえた予算編成全般について、会派の代表者による質問を行いました。

主な質疑応答

〔総務〕地域情報化事業費

質 現在、電子申請の利用が可能な数は

答 水道の使用・中止の申し込み、入札の参加資格申請や市民大学への参加申し込み、職員採用試験の申し込みなど、226種類である。今後はさらに周知して、益々の活用を図っていききたい。

〔民生〕生物多様性保全事業費

質 前年度予算と比べて増額となった理由は

答 令和4年度からフビアカツヤカミキリの被害が爆発的な広がりを見せており、前年度と同額の予算では不足が生じることから、増額して対応するものである。

〔産業教育〕部活動地域移行事業費

質 令和5年度の試行において課題となった点および対応状況は

答 1点目は、顧問と地域指導員の指導方法の統一であり、月1回程度の協議により調整を図っている。2点目は、練習試合等の引率について、休日は地域指導員の引率が原則となるが、経験不足が課題となり、当面は顧問との2名体制としている。

〔産業教育〕とちぎ秋まつり負担金

質 令和6年度の来場者数の見込みは

答 コロナがらみに移行し、インバウンド需要も回復しつつある中で、担当課としては過去最高の来場者数を超える意気込みで取り組む。

〔民生〕福祉タクシー料金助成事業費

質 前年度予算と比べて増額となった理由は

答 新型コロナウイルスの影響で低下した利用率が回復傾向にあり、伸び率を基に増額した。また、市民からの要望を受け、令和6年度からタクシー券の利用枚数の上限を2枚から4枚に変更するため、利用金額も増加するものと考ええる。

〔建設〕空き家対策事業費

質 補助金額に差が生じる理由は

答 50万円の補助については倒壊の恐れがあるなど危険な状態にある空き家に対する補助であり、25万円の補助については、老朽化が進行し修繕が困難な空き家に対する補助となっている。



討論（議案第1号）

反対（白石議員）

新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、追い打ちをかけるように物価高騰が襲いかかり、消費者物価指数の上昇や実質賃金の前年同月割れなど、市民の暮らしと営業は危機的状況である。地方自治体には「住民の暮らしと福祉をよくする」という自治体本来の仕事をするのが求められているが、令和6年度予算を見ると、市民の命と暮らし、営業を守るために十分な予算措置が取られているとは言い難く、本予算に反対する。

賛成（森戸議員）

令和6年度予算は、子どもから大人まで全ての世代が笑顔あふれる心豊かな暮らしを実感できるまちづくりを進めるための「みんなが笑顔で暮らせる幸せづくり予算」であると認識している。本年度の予算編成は計画等を踏まえ、各種施策をバランスよく網羅するとともに、関係事業を有機的に連携させることにより、効果的、効率的なものとなっているため、高く評価する。全ての世代が笑顔あふれる心豊かな暮らしを実感できる栃木市を築くことを期待し、本予算に賛成する。

予算審査 令和6年度一般会計予算 過去2番目の予算規模

一般会計の当初予算は、雨水・浸水対策事業やとちぎクリーンプラザ施設保守整備事業、産業団地の整備や子育て支援にさらに取り組むため、昨年度に次ぐ740億9千万円となりました。

市長からは、「令和6年度予算を『みんなが笑顔で暮らせる幸せづくり予算』と位置付けて市政運営を行っていく。」との説明があり、議会では予算が適切に編成されているか、しっかりと審査しました。

令和6年度の主な事業を紹介します ※1万円未満切り捨て

シェアサイクル事業費
282万円



スマートフォンアプリを活用したシェアサイクル事業を実施する。

体力づくり事業費
281万円



スポーツ団体等と連携し、体力づくりのエキスパートを各小中学校に派遣する。

6歳児来院型フッ化物塗布事業費
329万円



年長児を対象に歯科健診やフッ化物の塗布等を行う。

地域施設再編モデル総合支所複合化整備事業費(都賀)
4億3856万円



都賀地域の総合支所、公民館、図書館を集約化し複合施設を整備する。

消防庁舎整備事業費
2億1623万円



老朽化・狭あい化した消防庁舎を整備する。

管路耐震化事業費
2億4062万円



耐用年数を経過した上水道の塩化ビニル管の布設替えを行う。

予防接種事業費
5億5693万円



定期・任意(带状疱疹・小児インフルエンザ等)予防接種を市内医療機関等に委託し、適切な接種を行う。

企業誘致事業費
152万円



立地企業に対する支援制度を活用し、市内への企業誘致を推進する。

生誕150年記念小平浪平顕彰事業費
539万円



生誕地等へのバスツアーおよび小学生向けの教材の作成を行う。

3月定例会で決まったこと(主な議案等)

特集ページ(2・3ページ)で取り上げたもののほか、3月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。

各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。下記の二次元コードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



税率等を見直し

議案第31号 栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

可決 賛成 25 反対 2

デジタル教科書購入

議案第45号 財産の取得について(小学校指導者用デジタル教科書)

可決 全会一致

使用料改定

議案第52号 栃木市公園条例の一部を改正する条例の制定について

可決 賛成 24 反対 3

議案の概要

国民健康保険税の税率および課税限度額の見直しを行うに当たり、条例の一部を改正するもの。

主な質疑応答

質 改正による被保険者への影響は

答 保険財政調整基金を原資として税率の引き下げを行うもので、国民健康保険税が減額となる。

議案の概要

小学校指導者用デジタル教科書406冊を購入することについて議会の議決を求めるもの。

主な質疑応答

質 入札の参加者数および落札率は

答 応札者は3者であり、落札率は98・89%である。

質 購入するものはデータなのか

答 サーバー上のデジタル教科書のデータを開覧するためのライセンスを購入するものである。

議案の概要

公園施設の設置許可および公園内の行為の許可に係る使用料を見直すに当たり、条例の一部を改正するもの。

主な質疑応答

質 改正の概要は

答 1平方メートル月額40円となっていた使用料を栃木市行政財産使用料条例の規定で算出した額に改めるものである。

質 料金の改定による影響は

答 条例改正により使用料が上がる場所が1カ所、下がる場所が5カ所ある。

質 イベント等における敷地使用料の算定方法は

答 県内各市の状況を確認した上で、1平方メートル当たり日額での算定方法とした。

〈各陳情についての主な意見〉

陳情第1号 不採択

不採択とすべき

・執行部側にも同様の要請書が出ていることを鑑みると、執行部側で対応すべきであり、議会側で取り扱う必要はない。

陳情第2号 不採択

不採択とすべき

・過日の常任委員研究会で、市当局として対応ができるという確認をすることができ、今日現在、既にホームページでも公表されていることから、陳情の趣旨、陳情者の願意は果たされていると考える。

採択すべき

・採択しても結果が同じなのであれば、採択すべきである。

陳情第3号 不採択

不採択とすべき

・現在、日本政府としての対応を検討している途中であり、国際社会が一丸となって封じ込める仕組みが議論されている真つ最中である。WHOにおける議論の過程については、外交交渉に関わるものもあり、市議会からの意見書提出にはなじまないもので、不採択とすべきである。

※このほか継続審査とするべきとの意見がありました。



本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、討論が行われた議案番号と発言した議員名は次のとおりです。(○=賛成討論 ●=反対討論)

- 議案第1号 ●白石 幹男 議員 ●針谷 育造 議員 ○森戸 雅孝 議員
議案第2・3・4号 ●白石 幹男 議員 ○森戸 雅孝 議員
議案第31号 ●白石 幹男 議員
議案第41号 ●内海 まさかず 議員
議案第52号 ●白石 幹男 議員 ●針谷 育造 議員 ○針谷 正夫 議員

Discussion box for Case No. 41 and Case No. 52. Includes sections for 'Discussion (Case No. 41)', 'Opposition (Case No. 52)', and 'Approval (Case No. 52)'. Text discusses water/sewerage fees and asset valuation.

議案等の審議結果

3月定例会では、議案54件、認定1件、陳情3件が審査されました。賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。 賛成：○ 反対：●

Table with 28 columns (議員名) and 8 rows (議案/陳情). Columns include 川田, 小田, 市村, 雨宮, 森戸, 浅野, 小平, 大浦, 針谷, 古沢, 大谷, 坂東, 内海, 小久保, 青木, 松本, 梅澤, 天谷, 針谷, 広瀬, 氏家, 福富, 福田, 中島, 大阿, 小堀, 白石, 関口. Rows include 令和6年度栃木市一般会計予算, 令和6年度栃木市国民健康保険特別会計予算, etc.

※陳情第1号(政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情)・陳情第3号(パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る意見書提出を求める陳情書)については、賛成者はいませんでした。その他の議案48件は全会一致で可決されました。

Section titled '表紙の写真 新たな芽吹きのために' (Cover Photo: For the sake of new sprouts). Includes text about water management and a photo of people in a field.



小久保 かおる 議員
公明党議員会

避難所に手動式の井戸ポンプを 設置できないか

大規模災害で水道施設の損傷による長期間の断水が発生した場合、飲用水は備蓄や市販品、給水車の応急給水により供給されるが、洗濯やトイレ等に使用する生活用水の不足が心配される。

本市には、災害時に断水が発生した場合に、井戸水を市民や市内の事業者に提供してもらう栃木市災害時協力井戸登録制度があるが、制度の登録数を伺う。また、災害時の生活用水の不足を補うために、避難所となる施設に手動式のポンプ設置を検討できないか伺う。

答弁 中間危機管理監

制度の周知に努め、防災体制の強化を図っていく

平成 24 年 4 月に栃木市災害時協力

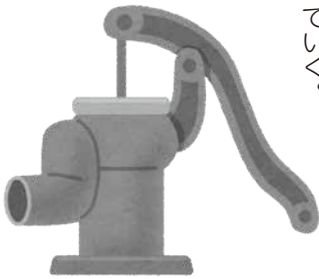
- 小中学生の学校における悩み相談
- 災害時の避難所運営
- 子育て支援策



井戸登録制度を導入して以来、令和 6 年 1 月末現在、個人で 46 件、企業や自治会等の団体 42 件で合計 88 件の登録がある。

また、停電時に利用できる手動式の井戸については、協力井戸で 19 カ所のほか、市の避難所には既に 18 カ所の設置がある。

大規模災害時は、トイレや洗濯など生活用水の不足が予想されることから、市民が所有する既存の井戸を地域の方々に無償で提供していただく目的で、災害時協力井戸を募集しており、災害時には市民の助け合いが必要不可欠であることから、今後、制度の周知に努め、防災体制の強化を図っていく。



一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



兩宮 茂樹 議員
公明党議員会

動画を利用した情報発信を

現在、本市は各 SNS の公式アカウントを利用した情報発信を行っており、令和 6 年度には新たに公式 LINE を使った情報発信を行うと聞いているが、その対象者と告知方法について伺う。

また、他市や他県に住む若者に向けた本市の宣伝として、短い動画を使用した情報発信が有効であると考えるが、T i k T o k の利用について、市の見解を伺う。

答弁 癸生川総合政策部長

他の SNS との比較や先進自治体の活用事例を参考に 研究していく

LINE は国内で若年層からシニア層まで幅広く利用されており、多くの方に向けて情報発信ができるものと期待している。

- 自治体 DX の取り組み
- キャッシュレス決済
- HPV ワクチン接種



周知方法は、広報紙やホームページ、チラシの窓口配布、報道機関への情報提供をはじめ、ごみや防災といった関心の高いお知らせに LINE への登録を案内する二次元コードを記載するなど、さまざまな機会を捉えて周知を図っていく。

また、T i k T o k については、短い動画を気軽に視聴できるアプリとして、若年層で広く利用されており、他自治体においても活用が図られていると認識している。

本市の特徴や魅力を視覚的にアプローチできることや拡散性の高さなど、特に若い世代への情報発信ツールとして期待できるものであるため、現在利用している他の SNS との効果等の比較や先進自治体の活用事例を参考に研究していく。





福田 裕司 議員
創政会

高齢者の就業機会を確保し、生産人口の人手不足解消を

2025年の栃木市は、人口減少と高齢化率の増加が予測されており、この傾向はその後も継続していくと推測されている。

人口減少に伴う生産人口の減少が人手不足の深刻化を招いており、地域経済を支える現有勢力が減少していく中、人手不足の解消が強く求められている。

今後の栃木市の発展や雇用の確保・拡大のためには、高齢者の就業機会の確保と支援に向けた取り組みが必要であるが、市の見解と対応を伺う。

答弁 櫻井産業振興部長

高齢者が生涯働き続けることができるような環境整備に努める

●栃木市における高齢者への就業機会の確保と支援推進
○能登半島地震における本市の支援状況



少子高齢化が進行し、人手不足である状況の中、本市の経済成長・発展のためには、高齢者の就業機会の確保が重要であると認識している。

本市では、シルバー人材センターが高齢者への就業機会の提供および確保に大きな役割を担っている。

企業や一般家庭から仕事を引き受け、働く意欲のある高齢者に仕事を提供することにより、高齢者の社会参加の促進に貢献しており、就業機会の拡大に向けて、より一層シルバー人材センターと連携を図っていく。

今後70歳までの就業機会の制度化や事業主に対する支援策、就業相談会や就活セミナー開催等の周知を行っていくとともに、国や県、関係機関と連携を深め、働く意欲のある元気な高齢者が生涯現役で働き続けることができ、その能力を発揮できるような環境整備に努めていく。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



浅野 貴之 議員
かかやき

本市教育のあるべき姿は

教育行政には、明確なビジョンを持って、子どもたちの学ぶ喜びを提供する環境を作っていく責務がある。

令和6年6月に教育長は2期6年の任期満了を迎えるが、その間、本市教育のあるべき姿をどのように考え教育行政を推進してきたのか、教育長が大切にしてきたことや教育行政における課題、改善の必要性を感じたことについて伺う。

答弁 青木教育長

「誰一人取り残さない教育」の実現を最も大切にしてきた

任期中、常に、最も大切にしてきたことは、「誰一人取り残さない教育」の実現である。

具体的には、子どもたち一人ひとりの個性や特性に応じたきめ細やかな指導・支援の一環として、学びの

○市長の政治姿勢
●教育行政
○地震等の大規模災害対策
○保育料の無償化



ユニバーサルデザイン化や合理的な配慮の充実等について、さまざまな機会を捉えて各学校への指導や働きかけに努めてきた。

これらの取り組みは、校長先生をはじめとした学校現場の先生方とはより、保護者や地域の方々の理解と協力そして頑張りにより、一定の成果が得られているものと実感している。

次に、教育行政における課題や改善の必要性を感じたことは、変化の激しい予測困難な時代をたくましくしなやかに生き抜くためには、子どもたちが自ら課題を見出し、自ら考え判断して主体的に伝える力や、多様な他者と協働しながら課題を解決していく資質や能力などを養う必要があると認識しており、本年度当初にスタートさせた第3期栃木市教育計画に、社会のニーズや時代の要請に対応し得る新たな内容も盛り込み、推進していく。



針谷 育造 議員
創志会

大幅な水道料金値上げは必然、市民と市の財政は大丈夫か

栃木市、下野市および壬生町の担当
者協議は進んでいるのか。

また、2013年の事業負担金
193億8千万円は、2023年の
試算でどれくらいになるのか。市の
財政負担と、市民は水道料金の値上
げに耐えられるのか。

「栃木県の用水供給条件の検討・
調査」依頼に回答を出さずに県南広
域的水道整備事業に参加しないこと
が市民のためになると思われるが、
市の見解を伺う。

答弁 増山副市長

**栃木県から用水供給単価等
が提示された段階で、参画
の可否を検討する**

現在、行っている用水供給条件の
検討および栃木県への回答につい

○サッカースタジアムの住民
訴訟検証結果と市の対応
○観光農園いわふねの貸
付猶予
●**県南広域的水道整備事業**



て、2市1町で打合せは行っており
ず、その内容は、各市町が検討する
ものと認識している。

調査の回答は、栃木県が用水供給
単価を算出するための材料で、回答
することが事業参画の意思表示にな
るとは考えていない。

その後、用水供給単価を含めた資
料が栃木県から提示された段階で、
市議会や市民の意見を伺いながら、
事業への参画の可否を検討する。

なお、事業へ参画した場合の本市
の財政負担は、現時点での判断材料
がないので、回答するのは難しいと
考える。



水不足が懸念される南摩ダム

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



古沢 ち子 議員
公明党議員会

**「市民議会」として
新しい発信力を!!**

「この地域に住んでよかった」を
体現し、市民満足度を向上させるた
めに地域会議の重層的な改善と進展
を望む。

地域会議からの選抜人で構成した
「市民議会」として地域に特化せず、
市全体の課題や魅力発信などを行え
ば発信力が高まり、周知がさらに広
がると思うが、市の考えを伺う。

答弁 大川市長

**よりよい地域自治制度となる
よう取り組んでいく**

地域会議から提案をいただき実施
した事業については、市のホーム
ページ等で情報発信を行うほか、各
地域会議の広報紙等を通じて、実施
報告を行っている。

しかし、そうした情報が地域の皆

●**中学生議会の総括と
市民協働のまちづくり**



さまに広く伝わっていないとの指摘
もあることから、地域会議の委員と
も対策について意見交換を行いつ
つ、栃木市地域づくり推進条例に基
づき進めている制度見直しの中で改
善を図り、周知強化に取り組みたい
と考えている。

なお、議員の提案である地域会議
の選抜委員で構成する会議も、市民
協働のまちづくりを進める手法の一
つとして有効であると考えてるので、
本市の地域自治を進めるための両輪
である地域会議と認定まちづくり実
働組織の意見を聞きながら、社会情
勢に応じた見直しを実施しつつ、よ
りよい地域自治制度となるよう取り
組んでいく。



新年度の巴波川や永野川の 雨水・浸水被害軽減対策は



大谷 好一 議員
自民未来

令和4年度は箱森町地内で放水路整備や平井町地内で調節池の整備を実施し、今年度は平井川排水路施設整備工事をはじめ、錦町地内および箱森町地内で調節池2カ所、祝町地内の旧下都賀病院跡地で地下貯留施設の整備を進めており、令和7年度事業完了を目標に進捗している。新年度予算として、約13億7700万円を見込むとなっているが、その詳細について伺う。

【答弁】 橋本都市建設部長

各種整備工事等を実施する

台風や集中豪雨による河川の溢水や内水氾濫による浸水被害を軽減するため、令和6年度は、巴波川流域において、祝町地内（旧下都賀病院駐車場跡地）で現在進めている地下



- 人口減少対策と現状
- 主要事務事業



貯留施設の北西に新たな地下貯留施設の整備工事を実施する。箱森町地内では、清水川沿いに予定している2カ所の調節池の用地取得と詳細設計を実施する。

また、永野川流域において、菌部町4丁目地内で排水施設整備等の測量と詳細設計を実施する。平井町地内では県立栃木農業高等学校東側実習地跡に平井第2調節池の整備工事と同高校南側に計画している平井第3調節池の用地取得、測量および詳細設計を実施する。

さらに、片柳町3丁目地内を流れる東郷堀川と瀬戸河原用水の合流地点に調節池の整備工事を実施する。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

若い世代に寄り添った施策を 実施し、強力なメッセージを



川田 俊介 議員
真政クラブ

女性の社会進出が著しい現在、栃木市でも若い世代に寄り添った施策が必要である。

財源の確保という問題はあるが、栃木市独自の少子化対策として保険適用外の不妊治療・先進医療に対して今ある年間15万円という上限を撤廃することや将来の妊娠に備えた卵子凍結に対する補助金を出す施策を実施してはどうかと考えるが、不妊治療等に対する市の今後の方針と施策を伺う。

【答弁】 大豆生田生活環境部長

制度の拡充を含め 調査・研究していく

本市の不妊治療費助成制度は、医療保険が適用されない治療費の2分の1を助成するもので、一連の治療

- 少子化対策
- イベントを通じた地域活性化
- 自主財源の確保



で1回の申請が可能であり、上限額は15万円となっている。

不妊治療については、令和4年4月から保険適用となり利便性が高まったが、年齢制限などにより保険が適用されないケースや、保険適用の治療を進めていく中で、保険適用外となる内容が含まれる場合もある。市としては、子どもを授かりたいと希望する夫婦の不妊治療による経済的負担を軽減することが重要であると認識しているため、現制度の周知を強化するとともに、県内市町の実施状況について情報収集に努め、議員提案の制度の拡充を含め調査・研究していく。





白石 幹男 議員
無会派

担当職員等から聴き取り調査をし、実態を説明せよ！

検証の方法については、市に保管されている文書を分析することによって検証することとしたが、報告書は、調査の過程において、「検討過程に関する記録は確認できなかった」、「相談がなされた記録はない」、「正副市長が了承済みなら」と発言を控える場面もあるのではないかと推測するところである」という記述にとどまっている。

実態を解明するため、関係者、担当職員等の聴き取り調査が必要と考えるが、見解を伺う。

答弁 瀬下経営管理部長

市として問題を生じさせた要因については明らかにできたと考えている

検証報告書については、具体的な

サッカースタジアム問題(①~④)
 ○①検証報告書 検証結果 決定に至る過程
 ●②検証報告書 検証の方法
 ○③今後の対応
 ○④栃木市公園条例の改正案
 ○保育行政

根拠に基づく検討がなされないまま、地域活性化や財政状況の改善といった公益性があるという理由で固定資産税と公園使用料を免除するという支援策を決定してしまった点に問題があったとして、どのような経過で固定資産税と公園使用料を免除するという選択に至ったのか、市の対応に焦点を絞って検証したものである。



一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



森戸 雅孝 議員
真政クラブ

**若者世代の婚活を支援し
少子化に歯止めがかかることを期待する**

時代とともに結婚や家族を持つことなどの価値観が変化している中においては、結婚を望む方の支援に取り組み、その希望を叶えることが、少子化に歯止めをかける対策の一つになるものと考ええる。

対面式の婚活イベントの開催のほか、デジタル社会に対応し、インターネット上の仮想空間(メタバース)を活用した出会いの場を設けるなど、若者の関心を惹きつけるような新たな取り組みも行い、結婚へと結びつけることを期待する。

本市の結婚活動への支援について現状を伺う。

答弁 癸生川総合政策部長

本市独自の婚活イベントを計画し出会いの場を創出していく

●少子化対策

本市における結婚支援策としては、2月11日に「恋人の聖地」として選定されたハートランド城および谷中湖を中心に、市の魅力が発信できる施設である栃木市立美術館、文学館、とちぎ花センター、いわふねフルーツパーク等の市内各所を巡るバスツアーを初めて企画した。

このツアーには県内外から8組16名のカップルの方々に参加していただき、好評を得ることができ、結婚支援と共に、移住・定住の促進、さらには少子化対策の一助となったものと考えている。

今後、結婚に対する希望を叶えるため、本市独自の婚活イベントを計画し、出会いの場を創出していくとともに、

栃木県の取り組みと連携を図りながら、結婚支援に取り組む。





広瀬 義明 議員
自民未来

新しい知恵をもって市民の理解を得る取り組みを

上下水道は、身近な事業であるがために、計画や料金の見直しに当たっては、市民の理解と協力が必要不可欠である。

施設の更新、電気料金等の高騰が経営を圧迫している現状も含めて、さまざまな情報を市民と共有する必要があると考える。

知恵の象徴とされる「ミネルヴァの泉」のごとく新しい知恵や手法を市民にお伝えし、理解を得るべきと考え、周知について現状を伺う。

答弁 小野寺上下水道局長

事業に対する理解が深まるよう積極的な情報発信をしたい

上下水道は、公営企業であること

● 栃木市の上下水道



から、サービスに見合った負担をいただくものである。そのため、負担に見合ったサービスが確実に提供されていることを、広くお知らせしていくことが必要であると考えている。

そこで、あらゆる情報を分かりやすくタイムリーに発信し、さらに市民の声を直接聴く機会を増やす取り組みを行ってきた。具体的には、利用者等への発信文書の刷新、ホームページにおいては迅速な情報発信を心がけるとともに、キッズページ、事業決算の分かりやすい見方など、情報の充実に努めている。また、メディアの活用として、ケーブルテレビ、FMくらら、SNSによる発信に加えて、昨年度から広報紙「MIZU」の発行を開始した。

市民の声を直接聴く機会としては、施設や工事現場の見学会の開催、イベントへの出展などを行っている。今後も、事業に対する理解が深まるよう積極的な情報発信を行いたい。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



内海 まさかず 議員
創志会

検討会議の結果を受けて今後はどうなるのか

今回の移転問題は、子どもの教育という視点より、藤岡第二中学校の廃校跡地をどうするかという行政的視点で進められた。また、地元議員の言動により政治的要素も加わり、事態の悪化を招いたのではないかと。

この問題は、一人の保護者が市のやり方に異議を唱えたことにより、結果的に「部屋小学校の今後の在り方に関する検討会議」が設置され、地元住民の意見を聞きながら進めることになった。

教育委員会は、この検討会議の結果を尊重するとしているが、今回の結果を受けてどうするのか。

答弁 青木教育長

検討会議の結果を部屋地区の住民に周知し、ご意見をいただく

- 市職員の採用及び課題
- サッカースタジアム問題
- 部屋小移転問題



検討会議の結果については、3回の会議を経て、「できるだけ早く、藤岡地域内の小学校4校を1校に統合した上で、新設校としての新校舎の建設を望む。また、統合するまでは、現在の部屋小を存続させる。」となった。

教育委員会としては、子どもたちのより良い教育環境の確保を最優先に、地域や保護者の代表で構成された検討会議において導かれた方向性であり、その結果を真摯に受け止め、尊重したいと考えている。

その上で、今後、検討会議の参加者も同席の上、議論された内容や方向性について、部屋地区住民を対象とした報告会などを開催し、意見をいただきたいと考えている。

これまでの市の方針案についての対応は、地元住民の意向を十分に踏まえながら教育委員会での協議や庁議での審議を経て、決定していきたいと考えている。



小平 啓佑 議員
自民未来

栃木市スポーツコミッションを創設し施設の活用を

本年 4 月に開設される「みかも自然の家」は、204 名収容の宿泊施設であり、体育館が併設されている。

同施設の開設により、これまでになかった滞在してスポーツを楽しむ環境が整い、さらに、周辺のスポーツ施設と連携することで合宿や大会誘致が期待される。

また、この好機に、県スポーツコミッション（※）に合わせ、本市もスポーツコミッションを設立することで、同施設の活用や本市のスポーツ振興がさらに進むものと考ええる。同施設を活用した本市のスポーツ振興について市の見解を伺う。

答弁 石川地域振興部長

プロスポーツ観戦機会の創出、スポーツ大会や合宿の誘致に
取り組み

- 栃木市の経済対策
- 企業誘致と産業の振興
- 栃木県立みかも自然の家



同施設の付近には、みかも山公園ハイキングコースをはじめ、CITY FOOTBALL STATION（サッカー専用スタジアム）を含む岩舟総合運動公園やサイクリングロードなどがあり、スポーツ施策を展開するには最適な立地と認識している。多くの人が宿泊可能となる同施設を活用し、スポーツを通じた交流やプロスポーツ観戦機会の創出、県スポーツコミッションと連携した各種スポーツ大会や合宿の誘致などに取り組んでいきたい。

※スポーツコミッション

スポーツ大会や合宿などの誘致や受け入れを推進するため、相談受付や支援などを行うもの。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



梅澤 米満 議員
真政クラブ

林業の担い手となる人材の確保が必要不可欠！

森林整備は必要であるが、林業従事者はそれほど多くないのが現状である。

今後、さらに森林整備を推進するためには、林業の担い手となる人材の確保が必要不可欠である。

そこで、担い手育成のために現在どのような取り組みを行っているのか伺う。また、今後林業従事者が安心して森林整備を行うために、どのような支援を行っていくのか伺う。

答弁 櫻井産業振興部長

林業に必要な知識等を習得する研修の経費に対して交付金を交付する

令和 6 年 4 月に栃木県林業大学校が開校し、林業に関する実践的な知識や技術を身に付け、即戦力となる

- 森林環境譲与税を活用した本市の林業振興
- 地域計画の策定状況
- カーボンニュートラルの推進



現場技術者の育成が行われる。本市は、林業の担い手の育成支援団体が行う、市内の高等学校等を対象とした林業に必要な知識、技術および資格を習得する研修の経費に対して交付金を交付している。

また、林業および木材産業の振興をさらに推し進めていくために、令和 6 年度から、林業従事者が行う安全教育および技能講習の受講、並びに安全に資する装備に要する費用に対する補助金の交付を検討している。



新たな地図の作成や、新たな重点整備地区の設定を



小堀 良江 議員
真政クラブ

本市は、栃木駅・新栃木駅周辺地区を重点整備地区に設定し、バリアフリー化事業を重点的に進めてきた。また、重点整備地区では、バリアフリーマップを作成し、各施設等のバリアフリー情報を提供している。しかしながら、設定や作成してから7年が経過していることから、新たなバリアフリーマップの作成や、新たな重点整備地区の設定について市の見解を伺う。

答弁 橋本都市建設部長

新たに立地された施設等も増えていることから、今後更新していく

バリアフリーマップについては、本地区の特定事業計画において、高齢者や障がい者の方々が円滑に移動

●バリアフリー化の推進にむけて



できるよう、誰にでも分かりやすくかつ、市の魅力を伝えるため、重点整備地区内に点在する観光施設も取り入れながら、各施設の情報掲載している。

しかし、作成後約7年が経過しており新たに立地された施設等も増えていることから、今後更新していく。また、新たな重点整備地区を設定することについては、既存地区の見直しも含め、各事業者と協議を行いながら検討していく。



一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

今回策定する産業基盤成長戦略で、市が最も重要視する戦略は何か



市村 隆 議員
真政クラブ

現在、本市では造成中の栃木インター産業団地へのデータセンター誘致を進めており、データセンターは今後も成長が見込まれる産業であると認識している。

企業誘致の適地として考えられるのは、準工業地域、工業地域および工業専用地域であるが、現在の市内の総面積を伺う。また、産業基盤の中心はインフラの整備であり、その実現には財源の確保が必要であるが、今回策定する産業基盤成長戦略の趣旨と、最も重要視する戦略について伺う。

答弁 櫻井産業振興部長

産業団地の適正配置や地域未来投資促進法による開発等を掲載していく

- 公共工事の円滑な施工
- 健全な財政基盤の確立
- 産業振興



本市の用途地域においては、準工業地域が約377ha、工業地域が約334.7ha、工業専用地域が約333.5haで、合計が約1045.2haである。

産業基盤成長戦略については、現在、本市には市内外の企業から事業拡大や移転に伴う産業用地の問い合わせが多いため、企業が立地を検討する際の誘導地域を示す必要があると考えて策定するものである。

具体的には、民間開発も含めた産業団地の適正配置や地域未来投資促進法による開発、さらには、工業系用途地域の指定なども掲載していきたいと考えている。

これにより、既存工場の拡張や新規工場の進出がしやすくなるように努めていく。





針谷 正夫 議員
かがやき

**読書活動推進計画策定から
読書のまちを目指そう**

現在の読書活動推進計画は、対象を子どもに限定していたが、次期計画は全市民を対象として令和6年度中に策定予定であり、策定に当たっては図書館協議会での協議や社会教育委員会、図書関係事業者や福祉団体等関係者から意見を聴取すべきとの提案も活かされている。

ぜひ、市を挙げて読書のまちを目指してより良い読書活動推進計画を策定してほしいが見解を伺う。

答弁 青木教育長

**読書が市民の生活に豊かさ
や潤いを与える糧となる計
画づくりを進める**

読書は、言葉や知識を学び、感性を磨き、想像力やコミュニケーション力を養い、生きる力を育むもので

○学校教育の充実と教育環境の整備
●栃木市読書活動推進計画の策定



あり、読書を通じて知識を深めることや見聞を広めることは、人生をより一層豊かにするものと考えます。

また、読書活動の推進は、生涯学習の中心的役割を担い、乳幼児から大人まで、全ての市民が自ら学び考える力を身に付け、人生を豊かなものにする必要不可欠な活動であると考えます。

これらの点を踏まえて、本市の読書活動推進計画は、いつでも、どこでも、誰でも、読書を気軽に楽しめる環境づくりを進め、読書が市民一人ひとりの生活に豊かさや潤いを与える糧となるような計画づくりを進めていく。



一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

▶ 写真アドバイザーにインタビュー



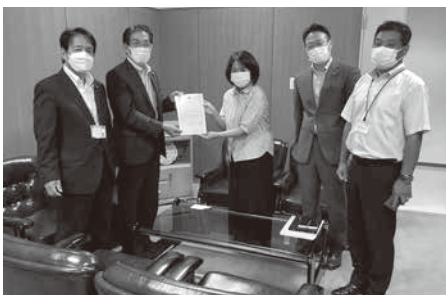
写真アドバイザー
若松 千草 さん

Q1: 写真アドバイザーとして議会だよりを見た感想は

A1: テーマに沿った躍動感ある人物の写真が表紙を飾りとても良かったと思います。
広報紙として、市民の皆さんにも親しみを持って見ていただけたのではないのでしょうか。

Q2: 写真アドバイザーをやってみての感想は

A2: 普段あまりお話しする機会のない市議の皆さんと話をするなど貴重な体験をさせていただき、大変にありがとうございました。
広報委員の皆さんの少しでも良い写真を撮ろうとする熱意をとて感じ、紙面の完成までの過程を知ることができよかったです。
大変にありがとうございました。



※写真アドバイザーとは
栃木市議会では、広報紙の充実を図る取り組みの一つとして、表紙等の写真に関して写真愛好家の方に必要に応じて助言をいただく制度を設けています。

モニター総括インタビュー

Q. 議会モニターとして、議会だよりを読んだ感想をお聞かせください。



毛塚 高章 さん

表紙に大きなひらがなを使用する、グラフや写真を使用する、文字のレイアウトや大きさ等に気をつけるなど、目に止まりやすく読んでみようと思われる工夫をしてほしいです。内容はすごくいいのにもったいないです。



大庭 麻美 さん

定例会の報告などいつも丁寧にまとめてあり読みやすいです。地元市民の声と寄り添って市民とより近いところに市議会議員さんが活動してくださっているのが伝わりました。



深津 悟子 さん

自分の住む市で現在何が起きているのか。市議の方々が何を目標として改善してくれるのか等を知ることができます。そのことを知っているか知らないかは将来の生活に大きな違いが出るのではと思いながら読んでいます。



針谷 忠宏 さん

写真やイラストをうまく活用して視覚的に親しみやすいものになっています。議案の賛成・反対も各議員のそれぞれの意見が書かれてあり、より分かりやすい文面になっているのではないのでしょうか。



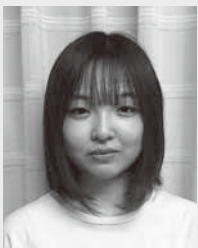
山本 勲 さん

議会一般質問者が同じ議員が多いのではないかと。広く市政を見て考えてもらいたい。



富山 芳男 さん

栃木市が抱えている問題や現状が分かりやすく書かれている。また、議会の内容も理解することができました。



神山 美咲 さん

審議過程を読者に伝えるその方法として質問と理由が簡潔に書かれていて見やすい構成でした。また、レイアウトも見やすく、難しいと思っていた内容も分かりやすく書かれていると思いました。



坂東 美砂 さん

2年間とても勉強になりました。今まで興味がなかったところや分からなかった議会の流れなどどんどん分かるようになりおもしろくなりました。



茂呂 和幸 さん

議会だよりは討論内容を知るいい材料である。こんなことも考えて議員さんたちが動いてくれているという活動を知ることが出来ていいと思った。



川上 拓馬 さん

議会でどんなことをやっているのかよく分かってよかった。要望として、難しい言葉が多いので、意味を説明するなど、かみ砕いて書いてほしいです。

約2年間にわたり議会広報紙作成にご協力いただき、ありがとうございました。

モニターインタビュー スペシャル (No.35、36)

今回は2人の「議会広報紙モニター」にご登場いただきました。

議会だよりの紙面を充実させるため、アンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。

MONITOR
INTERVIEW

35



議会広報紙モニター
茂呂 和幸 さん

Q：他市から転居されたとのことですが栃木市に引っ越すきっかけは

A：妻と相談し職場があり、慣れている栃木市で家を建てることにしました。

Q：引っ越してきた感想は

A：引っ越してきたときはコロナ禍で近所の付き合いができなかったのですが、コロナ禍が明け、付き合いができると周りの人は本当に良い人たちでした。

Q：栃木市に期待したいことは

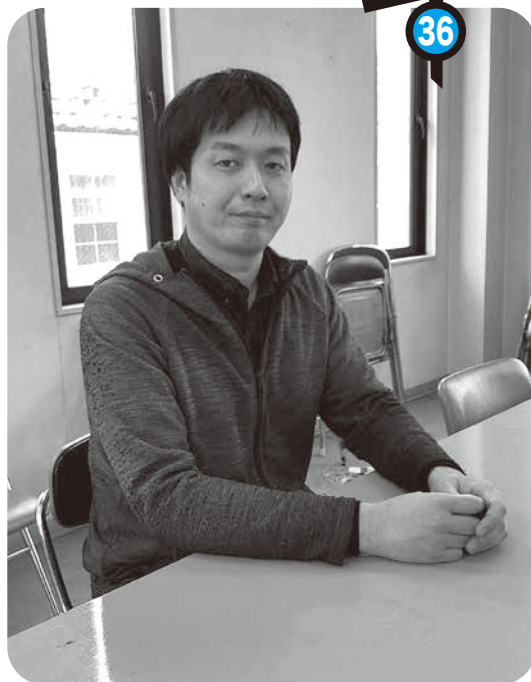
A：子どもが生まれたとき、半年後の検診時にオムツをいただきうれしかったです。頼れる親がいなかったので市の家事援助制度を利用できて、また、相談にも乗ってくれて感謝しています。子育て支援が充実すれば他の人も越してくるのでは。安定感のあるまちづくりを期待したいです。

(インタビュアー：内海委員)



MONITOR
INTERVIEW

36



議会広報紙モニター
川上 拓馬 さん

Q：議会だよりを読んで感じたことは

A：議会に興味を持つようになりました。新聞等でも議会や市の動きの記事を読むようになり、市政に対しても興味を持つようになりました。

Q：ケーブルテレビやインターネットで生中継を見た感想は

A：とても緊張感がある中で運営をしていると感じました。質問と答弁のやり取りを見ていると、議員も執行部もお互い時間をかけて準備をしていることが分かり、勉強になりました。多くの人に視聴してもらいたいと思いました。

Q：栃木市議会に望むことは

A：モニターの2年間で大きな問題になっていたのは「サッカースタジアム建設」の問題です。住民訴訟になり住民側が全面勝訴となりましたが、当初から議会がしっかり対応していたら、こんなに大きな問題にならなかったと思います。ぜひ、市民の代表として「市政をチェック」という立場を貫いてほしいです。
(インタビュアー：白石委員)

市長へ要請書を提出

(岩舟総合運動公園サッカー専用スタジアム住民訴訟に係る検証結果報告書に係る今後の取組について)

岩舟総合運動公園の敷地内に民間企業が建設したサッカー専用スタジアム等に係る固定資産税や公園使用料の免除をめぐる住民訴訟において、固定資産税の免除および公園使用料を請求しないことが違法であることを確認する判決が確定し、議会に対して住民訴訟に係る検証結果報告書が示されました。

これを受けて、議会では各会派代表者会議において議員からの意見を集約し、検証結果報告書への疑問点や不足している点への回答を求めた上で、サッカー専用スタジアム誘致に関する市の一連の対応について今後同様の事案が発生しないよう4項目の要請事項をまとめ、市長あてに要請書を手渡しました。

また、裁判の結果として違法性が確定したものではありませんものの、議会としてもこのような事案を二度と繰り返さないことおよび一層複雑化する行政課題に対応するため、調査・審査機能の深化を目的に取り組みを進めてまいります。



3月27日に議長から市長へ要請書を提出しました

議会から市への要請内容

- 1 公文書の適正管理
- 2 庁議の運営方法の改善等
- 3 法令遵守の徹底
- 4 議会との緊密な連携と情報共有

議会における今後の取り組み

- 1 議案等調査における外部の専門家の活用
- 2 議員研究会の開催方法の工夫
- 3 能動的な調査の実施



市議会HPへはこちらから

※詳細についてはホームページをご覧ください。

先進地視察を施策提言に役立てていきます

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために令和2年度から中止していた常任委員会の視察研修を4年ぶりに実施しました。

各委員会の調査事項は下記のとおりです。
先進地で調査した事項は今後の施策提言に役立てていきます。



視察報告書をHPに掲載しているよ。二次元コードからアクセスしてね。



二次元コード

総務常任委員会

静岡県磐田市 11月8日
・いわた高校生まちづくり研究所
静岡県富士市 11月9日
・行政改革

民生常任委員会

兵庫県姫路市 11月8日
・保育士人材の確保
兵庫県明石市 11月9日
・こどもの居場所創出事業・子育て支援事業

産業教育常任委員会

新潟県新潟市 10月30日
・アグリパーク（就農支援、アグリスタディプログラム等）
新潟県三条市 10月31日
・小中一貫教育及び小中一貫校（市立大崎学園）

建設常任委員会

愛知県豊田市 11月7日
・衛星画像を活用した漏水調査
・農業集落排水と下水道の接続
愛知県安城市 11月8日
・中心市街地拠点整備事業（アンフォーレ）

▶ 市民の皆さまの声を市長に届けました（議会報告会提言書）



今年度は、書面や動画等のさまざまな方法により報告を行うことで、市民から幅広く報告事項や市政全般に関する意見を伺いました。また、「人口減少社会におけるまちづくり」をテーマとし、市内高校生を対象に意見交換を行い、人口減少社会において、今後どのようなまちを目指せばよいのか、そのためにどのような対策が必要なのかについて、議員と高校生が議論をし、簡易版のまちづくり総合計画を作成しました。

さまざまな方法により集約した意見については今後の市政運営に活かしていただくため、提言書として市長に手渡しました。

詳しい内容は市のHPに掲載しているから、チェックしてみてくださいね。



市長に提出した提言事項

1. 栃木市の豊かな自然を生かしたまちづくりについて
2. 多様性を尊重した共生のまちづくりについて
3. 安心して働ける場所の確保について
4. 第 2 次栃木市総合計画の着実な実行について

6月定例会の予定（変更になる場合があります）

日	月	火	水	木	金	土
5/26	27	28	29	30	31	6/1
				新聞折込	本会議 議案等提案	
2	3	4	5	6	7	8
		本会議 『一般質問』				
9	10	11	12	13	14	15
	常任委員会 (総務) (民生) (産業教育) (建設)					
16	17	18	19	20	21	22
			本会議 議案等採決			

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、5月30日（木）に新聞折り込みを予定しています。

折り込みチラシ裏面には、一般質問で議員がどんな質問をするのかも記載されています。ぜひ、ご覧ください。



栃木市
マスコットキャラクター
とち介

栃木市議会広報委員会

今定例会では、令和6年度予算案を中心に議論が行われ、「みんなが笑顔で暮らせる幸せづくり予算」が成立しました。

現委員で発行する市議会だよりは、今号で最後となります。編集の際は、表紙写真の工夫や議会活動の紹介など、分かりやすく伝えられるよう委員一丸となって努力してまいりました。引き続き身近で愛着をもっていただける市議会だよりが作れるよう努力してまいりますので、今後ともご愛読ください。
(浅野貴之記)



委員長
副委員長
委員

写真アドバイザー

若松千草	白石幹男	青木一男	内海まさかず	坂東一敏	小平啓佑	浅野貴之	市村俊隆	川田俊介	小太刀孝之	雨宮茂樹
------	------	------	--------	------	------	------	------	------	-------	------

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。〈TEL：0282-21-2505〉